



## ACCELL/SQL Release1から上位Releaseへのバージョンアップ

ACCELL/SQL Release1インストールディレクトリ /home/ASQL1  
ACCELL/SQL 新リリースインストールディレクトリ /home/ASQL\_NEW

現在のACCELL/SQL対応データベースがUNIFY2000で、ACCELL/SQL 新リリースの対応データベースがDataServerとなる場合は、データベース移行処理 (UNIFY2000 DataServer)を行なった後に、下記の作業を行なう。

### 1. ACCELLアプリケーションの変換Part.1(ACCELL/SQL Release1)

Step1 ACCELL/SQL Release1の環境変数の設定

```
UNIFY=/home/ASQL1/lib  
DBPATH=/home/DB_DS  
DBNAME=file.db  
PATH=/home/ASQL1/bin:$PATH  
TERMCAP=$UNIFY/termcap  
UNICAP=$UNIFY/unicap
```

Step2 フォームをASCIIフォーマットに変換

```
マスターフォームの場合、 Q2ASC -a フォーム名 > フォーム名.az  
一般フォームの場合、    Q2ASC フォーム名 > フォーム名.fz  
ヘルプフォームの場合、  H2ASC フォーム名 > フォーム名.hz
```

### 2. ACCELLアプリケーションの変換Part.2(ACCELL/SQL)

Step1 ACCELL/SQL 新リリースの環境変数の設定

```
UNIFY=/home/ASQL_NEW/lib  
DBPATH=/home/DS_DB  
DBNAME=file.db  
PATH=/home/ASQL_NEW/bin:$PATH
```

Step2 TRANを使って、フォームファイルと4GLスクリプトファイルを  
ACCELL/SQL フォーマットに変換

```
$ TRAN -s PUBLIC *z *s
```

Step3 アスキー化したフォームファイルから、ACCELL/SQL 新リリース用のフォーム  
ファイルを作成する。

```
マスターフォームの場合、 ASC2Q -a フォーム名 < フォーム名.az  
一般フォームの場合、    ASC2Q フォーム名 < フォーム名.fz  
ヘルプフォームの場合、  ASC2H フォーム名 < フォーム名.hz
```

Step4 makeファイルを作成し、コンパイル/結合/リンク

```
$makeamake  
$make
```